



『津波は来るかもしれない。
けど、JoinTownに住みたいんや、
知恵しぼる』

日本が直面する2大課題 災害対策＋高齢者対策へ挑む



テレビ放送とクラウドによる新提案



JoinTown JOIN TOWN プロジェクト

徳島県海部郡美波町阿部^{あぶ}地区は、県南部で高知との境にあり、入り組んだ湾に面した漁村である。132世帯で254人、そのうち半数以上が65歳以上という超高齢の集落だ。南海トラフ最大地震M9.0が発生すると、県下最大の20m級の津波襲来が想定されており、12分後に第一波、30分で大津波が到達するという。家屋のほとんどが浸水し、停電となり、通信も途絶える。山間を縫う県道も寸断され、集落は孤立する。阿部地区は日本の近未来が凝縮しており、災害と高齢者の2つの対策が急務である。この地区で2013年度総務省ICT街づくり推進の委託事業「JoinTown徳島」[※]がスタートし、放送と通信を活用した避難訓練が2013年10月と2014年1月に行われた。その取り組みを紹介する。



※「JoinTown徳島プロジェクト」コンソーシアム：徳島県、美波町、四国放送、日本テレビ、日本マイクロソフト(株)、阿南高専、NTT空間情報(株)、NPOグリーンバレー、(株)テレコムメディア



四国放送



Microsoft

(記事制作：月刊ニューメディア編集部、写真：西山博文、森下泰樹)